

## 目標達成計画

作成日: 令和 4 年 3 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		バルーンチューブの自己抜去防止のつなぎ服の使用と立ち上がりによる転倒防止の為に安全ベルトを使用し身体拘束を行っている。	身体拘束ゼロを目指す まずは立ち上がり防止の安全ベルトを外したい。	手持無沙汰な時間ができると立ち上がる。コミュニケーションを取り、好きな事や興味を持てるものを情報収集し提供する事で立ち上がりの防止に繋げる。職員間で声掛けによる連携を取り見守りを行う。	6 ヶ月
2		経験年数の違いもあるが統一したケアを提供する。	入居者の情報を職員間で共有しケアに活かす事が出来る。	各居室担当者を決める事で入居者1人~2人に集中できる。その上できめ細かいケアを提供する為、気が付いた事や気を付けたい事をまとめ引継ぎノートやタブレットで情報共有を図る。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。